測技協創立40周年記念誌／40年史発行報告

公益財団法人日本測量調査技術協会（以下、測技協）は、2020（令和2）年2月20日に創立40周年を迎えましたが、その直後から2021（令和3）年度にかけて、予定していた記念行事を中止する等、法人活動においても新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響を受けました。そのような状況下で、2021（令和3）年春に、40周年記念誌と40年史を発行し、関係各位にお届けすることができました。編纂にご協力いただいたすべての皆様に、あらためまして御礼申し上げます。

本稿では、測技協創立40周年記念誌～先端測量技術と標準化の変遷 そして未来への展望～と、40年史～測技協－40年のあゆみ～の発行について報告するとともに、先端測量技術116号で特集を予定している「40周年記念誌データから読み解く「測技協と測量技術の変遷」」について予告いたします。

測技協　創立40周年記念誌/40年史編纂ワーキンググループ
座長　椎橋　信幸

★創立40周年記念誌 ～先端測量技術と標準化の変遷そして未来への展望～

40周年を迎えた測技協の足跡を記念誌として取りまとめました。巻頭は、岡部会長と業務執行役員からの刊行挨拶で始まり、関係官庁や関係団体からのお祝辞を掲載しました。

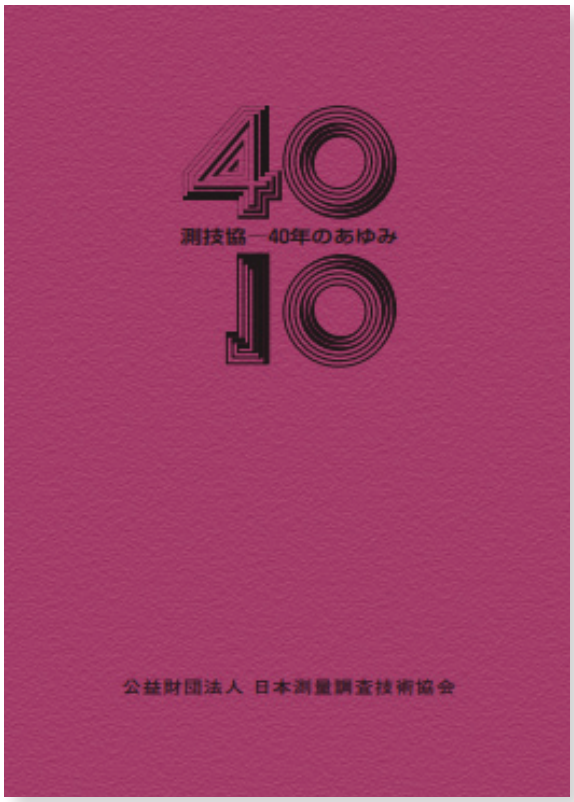
次に協会運営のあらましを紹介しました。百数十社の出捐により財団法人として設立し、写真測量を中心に測量調査技術に関する研究とその普及活動に邁進し、時代の変遷とともに、公益性の高い役割を果たしてきました。

記念特集として、「先端測量技術と標準化の変遷そして未来への展望」を掲載しました。先端測量技術と標準化の9つの分野について、携わった委員、技術者の方々に執筆いただき、その変遷と今後の展望について取りまとめていただきました。また、測技協の活動を支えた8つの委員会・技術部会の活動を振り返ってもらいました。

巻末には、これらの活動と時代の変遷、社会動向を総括した年表を掲載しました。測技協の活動に少しでもご縁のあった方、測量調査技術やGIS・地理情報標準にご興味のある方のご参考となれば幸いです。巻末にはデータ化したCD-ROMを添付してありますので、より多くの方にご高覧いただければと考えています。

★40年史 ～測技協 ―40年のあゆみ～

上記の記念誌と合わせて、記録を中心とした40年史を作成しました。2012（平成24）年の公益財団法人への移行時に承認された以下の公益目的事業に沿ってその活動について記録しています。



〈公益目的事業〉

ア. 技術研究、イ. 技術普及、ウ. 地理情報の標準化、エ. 地理情報標準認定資格、オ. 品質検定、カ. 災害時緊急撮影、キ. 表彰

また、資料として、役員の変遷、委員長・技術部会長の変遷、歴代役員等の一覧、歴代功労者表彰者一覧、年表（主要行事と社会動向）、役員・評議員・委員会/部会員名簿・会員名簿を掲載しています。

これらについても、巻末のCD-ROMにデータ化してありますので広く活用していただければ幸いです。

★先端測量技術次号（116号）特集予告

『40周年記念誌データから読み解く「測技協と測量技術の変遷」』

創立40周年記念誌と40年史では、測技協の運営と組織の歴史を記録し、測量調査技術の研究とその普及の足跡を残すことができました。写真測量技術を中心として、デジタル化、ICTによる様々な技術革新の取り組みが、多くの会員の協力により分かり易く解説され、関係する技術者や広く世の中に役立てることができたと思います。

これらの資料は、測技協の記録として、長く引き継がれていくものと思いますが、取りまとめに費やした熱量が高いうちに、「測技協の果たした役割、変遷」を、背景となる法制度や規程、国等の施策、社会動向から読み解いてみる価値があるのではと考えました。また同様に、記念誌等の内容と重複する面はありますが、「測量技術の変遷」について、関係する諸事項と自主研究、受託業務等の研究活動や機関紙APA・先端測量技術等に投稿された論文からさらに読み解いて見ることも意味深いものと考えました。

次号、先端測量技術第116号では、このような理由から下記の内容の特集を掲載する予定です。

どうぞご期待下さい。

特集　40周年記念誌データから読み解く「測技協と測量技術の変遷」目次（仮）

1. はじめに
2. 測技協の足跡と果した役割
   1）設立からディジタル・マッピング（DM））まで
   2）公共測量新技術のために
   3）2000年代のデジタル技術革新と社会的な背景
   4）社会の変革と公益財団法人への移行
   5）東日本大震災の復旧・復興から国土強靭化へ、
   6）ICT/IoTによる超スマート社会と3次元デジタル化
3. 主な測量技術の変遷

〜自主研究、受託業務、投稿論文から読み解く〜

   1）ディジタル・マッピングの標準化と規定化
   2）デジタル写真測量と航空レーザ測量の変遷
   3）応用測量（TS・GPS・TLS・MMS）の変遷
   4）GISと地理情報標準の変遷
   5）空中写真判読調査・解析等の変遷
   6）災害時緊急撮影の取組み
   7）先端測量技術と3次元デジタル
   8）新型コロナウイルス感染症への取組み
4. まとめ